

# 平成28年7月定例教育委員会 会議次第

開催日時：平成28年7月28日（木）15時から  
会 場：臼杵序舎 301会議室

## 1 開 会

## 2 教育長報告

## 3 協議事項

第33号議案 平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について

## 4 学力向上について

- ・平成28年度大分県学力定着状況調査の報告について

## 5 教育予算等について

- ・公共施設整備5ヵ年計画について

## 6 その他

- ・臼杵市歴史資料館運営委員会委員の委嘱について
- ・子ども市議会について
- ・中学生ピロリ菌検査について

## 7 閉 会

## 連絡事項

### （1）各課からの連絡等

- ・読書のまちづくり（南小・南中・佐志生小・豊洋中での取組結果）
- ・山内流（入所者数・游泳大会のご案内）
- ・県民体育大会（日程）

### （2）平成28年8月定例教育委員会の開催について

候補日 ①平成28年8月29日（月）15時から

平成28年7月

定例教育委員会議案

臼杵市教育委員会

## 平成28年7月定例教育委員会付議議案 目次

第33号議案 平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について…………1

## 第33号議案

### 平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について

平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年教育委員会規則第6号)第1条第8号の規定に基づき議決を求める。

平成28年7月28日提出

臼杵市教育委員会教育長 斎藤克己

### 平成29年度使用小・中学校教科用図書の同一教科書教科書採択について

平成29年度から使用する小・中学校教科用図書の採択をする必要があり、次のとおり提案する。

#### 理由

小中学校では、学校教育法（昭和22年法律第26号）第21条、第34条及び第49条により、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないと規定されています。

教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号及び教科書の発行に関する臨時措置法（昭和23年法律第132号）第7条第1項により学校設置者である教育委員会で採択することが定められています。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第14条により、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされています。

本年度は、平成27年度に採択替えを行なった小学校教科用図書及び平成28年度に採択替えを行なった中学校教科用図書を平成29年度教科用図書として使用するため、同一教科用図書の採択をする必要があり提案する。

平成28年7月

【定例教育委員会資料編】

## 平成28年7月定例教育委員会資料編 目次

第33号議案	平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について	1
・その他		
	臼杵市歴史資料館運営委員会委員の委嘱について	5

平成27年度使用 県杵市立小学校用教科書採択結果および採択理由

種目	採択した 発行者	採択理由
国語	光村図書	○全ての単元において「単元をつらぬく言語活動」を設定しており、子どもの主体的な学びが期待できる。 ○参考資料、作品が最多である。
書写	光村図書	○書写の原理、原則をスマールステップの手法で、子どもたちに丁寧に身につけようとしている。
社会	日本文教	○課題解決学習にそった構成である。 ○子どもに身近な教材が豊富に掲載されている。 (6年下 大分国際車いすマラソン、小鹿田焼など)
地図	帝国書院	○地図自体が詳細である。 ○旧町村名が細かに記載されているなど、社会科の学習に十分に活用できる。
算数	教育出版	○「問題」⇒「課題」⇒「まとめ」の過程が明確である。 ○単元導入時に簡単な数値を用いて、解決に向けた見通しを持たせようとする工夫が見られる。
理科	大日本図書	○見開きで、観察・実験の結果が分からないような配慮がなされている。 ○系統性や季節を十分に考慮した単元配列がされている。
生活	東京書籍	○スタートカリキュラムを重視した構成である。 ○学期ごとのふりかえり「できるようになったこと」が、学びの自覚へと関連づけられる。
音楽	教育芸術社	○つけたい力を十分にふんだれた単元構成がある。 ○大分県とかかわりの深い教材の位置づけがされている。 (本場鶴崎踊り、滝廉太郎など)
图画工作	日本文教	○単元ごとにつけたい力をタイトル横に明記している。 ○学習に使用する道具の使い方の説明の丁寧である。 ○大分県立芸術会館の事業が紹介されている。
家庭	開隆堂	○実習の流れを捉えやすい。 ○道具や用具の正しい使い方を見開き 1 ページでわかりやすく説明されている。
保健	学研教育	○「健康」について表紙裏のページにはっきりと記載されている。 ○保健を学ぶ意義も同時に明記されている。

平成28年度使用 真杵市立中学校用教科書採択結果および採択理由

種目	採択した 発行者	採択理由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの扉では身につける力が明確に示されており、学習の流れが分かりやすく、主教材と関連した言語活動が配置されている。</li> <li>・言葉に関する知識が習得でき、日常に生きる言葉の力が身につくように配慮され、巻末の練習問題には、書き込みスペースがあり、基礎・基本の定着に役立つ工夫がなされている。</li> </ul>
書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の指導内容がすべてバランスよく配置されている。</li> <li>・題材となる文字が整っており、漢字と仮名の調和がとれている。</li> <li>・豊富な資料が掲載されている。</li> </ul>
社会 (地理)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が明確に設定されており、地域的特色の理解のために単元が構造化されている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮しており、写真や地図、統計資料などが見やすい。</li> <li>・単元のまとめに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題が最も多く、内容も単元に応じた適切な内容になっている。</li> </ul>
社会 (地図)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体がカラーユニバーサルデザインで構成されており、落ち着いた色調で統一されており、検索学習に適している。</li> <li>・隣接する大陸圏が見開き縦で構成され、近隣諸国との関係が分かりやすく理解できる構成になっている。</li> <li>・各州の地形鳥瞰図により、陸地や海底の構造がわかりやすく示されている。</li> </ul>
社会 (歴史)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心を引き出す導入資料や学習のめあてを示す学習課題、分かりやすい本文、学習内容をまとめる確認など、全体が課題解決学習を意識しながら、1時間の授業で基礎・基本の定着や、思考力・判断力・表現力を高めることができる構成となっている。</li> <li>・章末でこれまで学んだ時代をとらえ、次の時代の学習につながりやすい工夫がみられる。</li> </ul>

社会 (公民)	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「導入」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成されており、基礎的・基本的な知識や技能、概念が確実に習得できる。</li> <li>・学習内容を活用して、思考を促し、自分なりに判断・表現する問い合わせが設けられ、言語活動が行うことができるよう工夫されている。</li> <li>・今日的課題の対応として、持続可能な社会を実現するために前向きな取り組みや未来に向けて努力する人々の姿から考える資料が、豊富に設けられている。</li> </ul>
数学	数研出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の説明がとても丁寧で生徒にとってわかりやすく、特に関数・図形の領域では、さまざまな場面で生徒が理解しやすいように要点をおさえている。</li> <li>・各章の終りに基本問題、問題AB、発展問題が用意されており基礎基本をおさえるとともに活用力育成でき、生徒が誤りやすい問題では、例と問い合わせの間に注意書きなどがあり、細かい配慮がされている。問い合わせの中には『理由を述べさせる』等の工夫がある。</li> </ul>
理科	大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験結果をもとに考察し、話し合いながら原理や法則を探求する活動を重視した構成になっている。</li> <li>・各単元の最後に「終章」を設け、単元の学びを活用して主体的に課題を解決していく学習活動を提起し、習得・活用・探究と続く理科の能力向上に役立つ。</li> <li>・単元ごとの「私のレポート」により、実験レポートの書き方が詳しく解説されており、筋道立てて思考を整理し深めていくことができる。</li> </ul>
音楽 (一般)	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌う楽しさ、音楽の楽しさを追求していく上で単元の構成、曲の選択、鑑賞教材など全てにわたって音楽の基礎基本を考慮した上でつくられており、合唱教材では、各学年の目標に沿って、系統だった指導にできるようにバランスよく編成されている。</li> <li>・鑑賞教材は、写真が大きくてわかりやすい。説明が丁寧で、楽譜中に旋律を色づけてわかりやすくしている。</li> </ul>
音楽 (器楽)	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な色の使い方や写真が鮮やかで、色彩が豊かでレイアウトにインパクトがあり、器楽の魅力を感じる演奏スタイルの写真が多く掲載されている</li> <li>・学習過程では、楽器の構造・名称・奏法から独奏曲へ、そしてアンサンブルへと発展する構成になっている。「Q&amp;A」の形で、分かりやすく説明されている。また五線譜だけでなく、縦書きの楽譜が多く用いられ、奏法も基本的な構え方が丁寧に記載され、取り組みやすくなっている。</li> </ul>

美術	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入の詩や作者の言葉、鑑賞教材、制作過程の写真など、たくさんの思考力・判断力・表現力を高める構成がなされている。</li> <li>鑑賞資料で、言語活動の充実を図り、表現力等を養うことができる。</li> <li>大分県の工芸品や、大分市内の街中で開催された「街中アートギャラリー」がされており、生徒が題材を身近に感じやすい。</li> </ul>
保健 体育	学研教育 みらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末には「用語の確認」「基礎の完成」「活用問題」が設けられ振り返り学習ができる、生活に生かせるような工夫事例や資料を多く掲載している。</li> <li>各単元・題材ごとに「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用」で構成され話し合い活動等の能動的な学習が展開されるように工夫されている。</li> <li>体力の向上、健康の保持増進をはじめ、共生、福祉、ボランティア等について身近な課題から世界的な課題がある。</li> </ul>
技術 家庭 (技術)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や題材ごとに、課題提示から追求、まとめまでの構成が系統立てられており、実践的・体験的な学習活動が多く、課題解決学習の中で、言語活動を通した生徒の思考の深まりが期待できる。</li> <li>情報モラルの内容が、今日的問題であるセキュリティや人権、知的財産等について細かくふれられており、充実している。</li> </ul>
技術 家庭 (家庭)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して写真が多く、実物大の視覚的なリアルさや折り込みページを効果的に使用するなど実生活につなげやすく、また「リンクマーク」で他の内容との関連を多く示しており、総合的な学習が期待できる。</li> <li>巻末に「生活の課題と実践」をまとめており、学びを横断的に生活に生かせる実践例が多く示されており生活の場で活用できる。</li> </ul>
英語	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>各 Lesson はとびら（見通しを立てる）・GET（習得）・USE（活用）・まとめ（確認）の流れで構成されており、学びのプロセスが重視されている。各課末に USESPEAK, USE WRITE, PROJECT を配置し、4技能のバランスを重視した言語活動が充実した構成になっている。</li> <li>3学年とも CAN-DO リスト『What Can I Do?』が示されており、1年を通じ4技能で何ができるようになっていればいいのかが生徒にわかりやすい。</li> </ul>

## ○臼杵市歴史資料館運営委員会設置要綱

平成26年6月27日

教育委員会告示第12号

## (設置)

第1条　臼杵市歴史資料館(以下「歴史資料館」という。)の円滑な運営と効率的な活用を図り、古文書や絵図など臼杵市所蔵の貴重な歴史資料等を広く公共の利用に供し、市民の教育文化の向上に資するため、臼杵市歴史資料館運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

## (所掌事務)

第2条　委員会は、歴史資料館の運営に関する次の事項を協議し、指導、助言を行う。

- (1) 展示計画及び活用計画に関すること
- (2) 企画展示等にかかるPR活動に関すること
- (3) その他、運営に関し必要な事項

## (組織)

第3条　委員会の定数は、10人以内とする。

2　委員会の委員は、次の者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 博物館等の運営に関する学識経験者
- (2) 市議会議員
- (3) 臼杵市内公立学校関係者
- (4) 前3号のほか、市長が適当であると認める者

## (委員の任期)

第4条　委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長及び副委員長)

第5条　委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2　委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

3　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

## (会議)

第6条　運営委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、議長となる。

2　委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

3　委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

## (庶務)

第7条　委員会の庶務は文化・文化財課において処理する。

## (その他)

第8条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

この要綱は、平成26年7月1日から施行する。

臼杵市歴史資料館運営委員会 名簿

(会議メンバー)整備全体の方針、館名案の審査など行う。個別案件についての招へいもあり。

	氏名	所属・役職	備考	生年月日	丁番号	住所	電話	新任・再任
1	加藤 康彦	大分県立美術館副館長	日本近代美術史	S31.10.12	874-0908	別府市上田湯町 11-30グリーンヒル 606号	①OPAMのお席の電話 097-533-4501 ②ではなかな連絡がつかないときは、OPAM職員さんにことわった上で、②先生の個人的なケータイ090-6634-7869までかけてください。	再任
2	大津 祐司	大分県立先哲史料館長	日本近世史	S36.1.17	870-0100	大分市駄原587-1 大分県立先哲史料館	大分県立先哲史料館 097-546-9380	新任
3	吉良 國光	大分県立芸術短期大学名誉教授	日本中世史	S31.10.12	819-0044	福岡市西区生松台1-28-3	自宅 092-812-3554	再任
4	木本 邦治	臼杵市文化財調査委員長	日本近世史	S34.9.14	875-0041	臼杵市野津町字才原 川登小学校	川登小 0974-32-3186	再任
5	大塚 州章	臼杵市議会議員	議会代表	S36.7.12	875-0042	臼杵市北海添13-3組	自宅 0972-63-0443 携帯 080-3980-0409	新任
6	後藤 昌三	大分県立臼杵高校教諭 (地理歴史科)	高等学校 社会科教育	S32.4.26	875-0042	臼杵市大字海添北海添2521 大分県立臼杵高校	臼杵高校 0972-62-5145	再任
7	赤嶺 智範	臼杵市立野津小学校教諭 (小学校社会科部会)	小学校 社会科教育	S34.7.15	875-0202	臼杵市野津町大字山頭3100番地 臼杵市立野津小学校	野津小 0974-32-2004	再任
8	戸高 浩二	臼杵市立西中学校教諭 (中学校社会科部会)	中学校 社会科教育	S45.10.13	875-0053	臼杵市大字戸室535 臼杵市立西中学校	西中 0972-62-3547	新任
9	亀井 美和子	臼杵市社会教育委員	社会教育	S23.12.1	875-0233	臼杵市野津町宮原2616-1	自宅 0974-32-4592	再任
10	斎藤 真歩子	臼杵市観光戦略会議委員	観光振興	S58.6.29	875-0004	臼杵市大字大野平田312-2	携帯 090-4980-2624	新任

平成28年7月

定例教育委員会追加議案

# 臼杵市教育委員会

## 平成28年7月定例教育委員会追加議案 目次

報告 第5号 平成28年度文化の日被表彰者の推薦について -----1

## 報告第5号

### 文化の日被表彰者の推薦について

平成28年度文化の日被表彰者を推薦することについて、教育行政功労者推薦要綱の規定に基づき報告し同意を求める。

平成28年7月28日提出

臼杵市教育委員会教育長 斎藤克己

#### 理由

平成28年度文化の日被表彰者を推薦するため報告し同意を求める。

## 教育行政功労者推薦要綱

平成26年1月22日

### 一 趣旨

本市の教育行政において、その功労が特に顕著な者を臼杵市表彰規則(平成17年規則第2号)第3条により、被表彰者として市長に推薦するために必要な事項を定める。

### 二 対象者は、次のとおりとする。

1 原則として、次の(1)、(2)、(3)または(4)のいずれかに該当する現存者とする。

#### (1)教育委員

ア 委員長として2年以上在職したことのある者で、推薦する当該年度中に70歳以上になっている者

イ 教育長として8年以上在職したことのある者で、推薦する当該年度中に70歳以上になっている者

#### (2)社会教育・社会体育関係者

ア 社会教育・社会体育関係団体の役員として多年社会教育・社会体育の振興発展に貢献し、功績顕著な者で、団体の代表を12年以上務めた者

イ その他社会教育・社会体育の振興発展に永年にわたり尽くした者で、それぞれの団体の委員を25年以上務めた者

#### (3)文化財・文化振興関係者

ア 臼杵市文化財調査委員として16年以上(8期以上)在籍したことのある者で、かつ、推薦する当該年度中に70歳以上になっている者

イ 文化団体の役員として文化の振興に貢献し、団体の代表を12年以上務めた者

ウ その他文化の振興に永年にわたり貢献した者で、特に顕著な成果を上げた者、または関係団体の委員を25年以上務めた者

#### (4)学校教育関係者等

ア 臼杵市の公立幼、小、中学校に10年以上在籍した経験を持つ退職した職員で、次の要件を満たす者に対して行う

- ・ 学習指導、生徒指導、進路指導、学校体育、学校保健、学校給食、部活動、特別支援教育、学校事務の機能強化等について、特に顕著な成果を上げた者
- ・ その他学校教育において、他の教職員の模範となるような実践を行い、特に顕著な成果を上げた者

イ 市町村立学校県費負担教職員以外の者で、長きにわたり学校運営又は児童生徒の安全確保に直接若しくは間接的に活動し、児童生徒の健全育成活動に寄与した者

#### (5)その他教育行政に特に功労があった者

ア 教育委員会にて審議し、市長に被表彰者として推薦することが相応しいと議決された者若しくは団体

三 対象者のうち、(1)から(4)については、市長に推薦する前に教育委員会に報告し、同意を得るものとする。

## 別記様式(第3条関係)

## 表彰者推薦書

## 表彰推薦書(個人、団体)

ふりがな 氏名 (名称)	おかまつ まさあき 岡松 真明																																
生年月日 (設立年月日)	昭和13年3月6日	職業	無職																														
住所 (所在地)	臼杵市大字臼杵 162-8番地	団体代表者 氏名																															
功績の内容	<p>&lt;主な経歴等&gt;</p> <p>昭和35年3月 日本体育大学 卒業</p> <p>昭和35年4月～平成11年3月 教諭として勤務</p> <p>平成11年4月～平成15年3月 大分陸上競技協会理事長</p> <p>&lt;主な役員等&gt;</p> <table> <tbody> <tr><td>年月～平成 年月</td><td>大分陸上競技協会 強化委員長ほか (在職中10年以上)</td></tr> <tr><td>平成19年4月～平成21年3月</td><td>日本陸上競技連盟 理事</td></tr> <tr><td>平成11年4月～平成15年6月</td><td>日本陸上競技連盟 評議員</td></tr> <tr><td>平成17年4月～平成21年3月</td><td>九州陸上競技協会 理事 競技部長</td></tr> <tr><td>平成11年4月～平成15年6月</td><td>大分陸上競技協会 理事長</td></tr> <tr><td>平成16年5月～</td><td>臼杵市陸上競技協会 顧問</td></tr> <tr><td>平成17年4月～</td><td>大分陸上競技協会 副会長</td></tr> <p>&lt;主な受彰歴等&gt;</p> <tr><td>昭和47年</td><td>日本陸上競技連盟 平沢亮三章</td></tr> <tr><td>昭和58年</td><td>県知事表彰 (青少年健全育成とスポーツ振興)</td></tr> <tr><td>昭和62年</td><td>県教育委員会 教育功労者 (教育実践者表彰)</td></tr> <tr><td>平成元年</td><td>県高校体育連盟 功労賞</td></tr> <tr><td>平成5年</td><td>日本体育協会 功労賞 (国体30回以上出場)</td></tr> <tr><td>平成5年</td><td>県体育協会 功労賞</td></tr> <tr><td>平成10年</td><td>日本陸上競技連盟 秩父宮章</td></tr> <tr><td>平成11年</td><td>大分合同新聞社 功労賞・スポーツ賞</td></tr> </tbody> </table> <p>【功績の内容】</p> <p>氏は、昭和35年日本体育大学を卒業後、保健体育の教師として県内中学校・高等学校で平成11年まで指導にあたられた。中学から始めた陸上競技との関わりは深く、選手として県大会優勝、国民体育大会出場と主に短距離種目で活躍された。現役を引退後は、陸上競技全般の指導者として後進の育成に尽力され、全国規模の大会での優勝者10名を育てるなど高い指導力が評価されている。また、臼杵市陸上競技協会が平成16年に設立した小学生を対象とした「臼杵ジュニア陸上クラブ」では主任指導者として設立に尽力された。平成11年4月から平成15年6月まで勤めた日本陸上競技連盟評議員をはじめ、各種団体で役職を歴任され、現在も大分県陸上競技協会の副会長として、臼杵市はもとより、大分県内の陸上競技の振興に尽力されている。</p> <p>競技・指導育成・普及と氏が行ってきた活動が認められ昭和58年の県知事表彰をはじめ、日本体育協会、県体育協会、県教育委員会等から功労者表彰を受けている。</p>			年月～平成 年月	大分陸上競技協会 強化委員長ほか (在職中10年以上)	平成19年4月～平成21年3月	日本陸上競技連盟 理事	平成11年4月～平成15年6月	日本陸上競技連盟 評議員	平成17年4月～平成21年3月	九州陸上競技協会 理事 競技部長	平成11年4月～平成15年6月	大分陸上競技協会 理事長	平成16年5月～	臼杵市陸上競技協会 顧問	平成17年4月～	大分陸上競技協会 副会長	昭和47年	日本陸上競技連盟 平沢亮三章	昭和58年	県知事表彰 (青少年健全育成とスポーツ振興)	昭和62年	県教育委員会 教育功労者 (教育実践者表彰)	平成元年	県高校体育連盟 功労賞	平成5年	日本体育協会 功労賞 (国体30回以上出場)	平成5年	県体育協会 功労賞	平成10年	日本陸上競技連盟 秩父宮章	平成11年	大分合同新聞社 功労賞・スポーツ賞
	年月～平成 年月	大分陸上競技協会 強化委員長ほか (在職中10年以上)																															
	平成19年4月～平成21年3月	日本陸上競技連盟 理事																															
	平成11年4月～平成15年6月	日本陸上競技連盟 評議員																															
	平成17年4月～平成21年3月	九州陸上競技協会 理事 競技部長																															
	平成11年4月～平成15年6月	大分陸上競技協会 理事長																															
	平成16年5月～	臼杵市陸上競技協会 顧問																															
	平成17年4月～	大分陸上競技協会 副会長																															
	昭和47年	日本陸上競技連盟 平沢亮三章																															
	昭和58年	県知事表彰 (青少年健全育成とスポーツ振興)																															
昭和62年	県教育委員会 教育功労者 (教育実践者表彰)																																
平成元年	県高校体育連盟 功労賞																																
平成5年	日本体育協会 功労賞 (国体30回以上出場)																																
平成5年	県体育協会 功労賞																																
平成10年	日本陸上競技連盟 秩父宮章																																
平成11年	大分合同新聞社 功労賞・スポーツ賞																																

備考 経歴・受彰歴は、功績の内容欄に記入すること。